

## 日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象となる患者様で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名	日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2029年2月28日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に整形外科を受診された、手術加療を必要とする整形外科疾患の方 2020年4月1日 ～ 2029年2月28日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>（研究目的・意義）</p> <p>運動器疾患に対する手術治療に関するビッグデータに基づいたエビデンスの構築、専門医制度のための症例データベース、外科系学会社会保険委員会連合（外保連）試案の実態調査、製造販売後調査（PMS）、新規医療技術の評価、重点的に対応すべき運動器疾患と手術法の提言など、さまざまな政策対応が可能です。また、本領域では人工関節、骨固定材料など種々の体内埋込型インプラントを用いた手術が多く、その実施状況とアウトカムに関する情報は、国民健康向上の観点に加え、医療経済上も極めて重要と考えられます。</p> <p>（研究の方法）</p> <p>情報収集項目；医療機関コード、疾患情報、手術情報、手術時間、麻酔時間、手術日、術者情報、看護師数、技師数、治療成績を収集し、インターネット上の日本整形外科学会レジストリシステムへの症例登録を行います。</p> <p>（外部への試料・情報の提供）</p> <p>登録された研究対象者の個人情報、データ登録機関の施設内ルールに従いカルテ番号等を匿名化した上でさらに加工を施した研究対象者ID①と、当該機関の施設番号と登録連番で構成される匿名加工された研究対象者ID②の両方で管理します。データ登録機関からデータセンターに登録する研究対象者ID①②のうち、ID①およびこれ以外の個人を特定しうる情報はデータ登録機関からデータセンターに開示しません。なお、研究対象者ID①の作成方法については、各データ登録機関内で厳重に管理し公表しません。</p> <p>また、データ登録機関では研究対象者ID①②と研究対象者の対応表を作成し、データ登録機関の長の責任で厳重に管理します。</p> <p>（研究組織）</p> <p>&lt;代表研究機関&gt;</p> <p>公益社団法人 日本整形外科学会</p> <p>&lt;研究責任者&gt;</p> <p>公益社団法人 日本整形外科学会 理事（症例レジストリー委員会 担当） 種市 洋</p>
【問い合わせ先】	医療法人川崎病院 整形外科 戸祭 正喜

### ※個人情報の取り扱い

収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。